

北部機械金属業界の景況動向

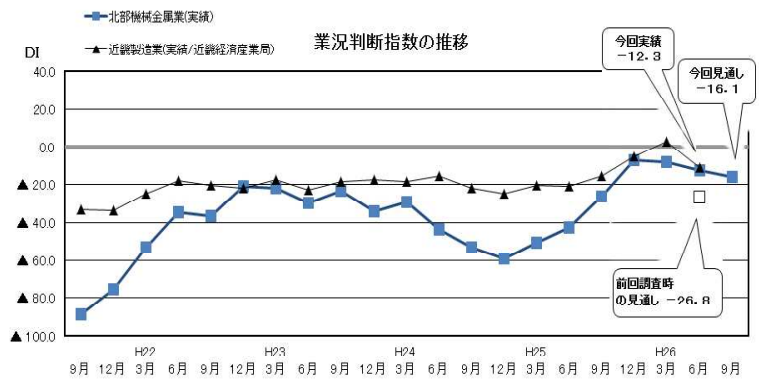
(2014年4~6月実績/2014年7~9月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業187社 【調査時点 平成26年6月下旬】
- 回答数：130社（回答率69.5%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:27、舞鶴市:22、綾部市:21、宮津市・与謝郡:12、京丹後市:48
 - ②取扱別 = 一般機械:50、電気機械:15、輸送機械:33、精密機械:18、その他:14
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:37、10~19人:28、20~49人:37、50~99人:13、100人以上:15
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●4~6月実績のDI(業況判断指数)は-12.3となり、前回調査(1~3月分。以下「前回」という。)より4.3ポイント悪化した(前回-8.0)。福知山市域は-3.7(前回3.3)、舞鶴市域は-18.2(前回-4.4)、綾部市域は-23.8(前回-26.0)、宮津市・与謝郡域は-25.0(前回-20.0)、京丹後市域は-6.2(前回-4.3)であった。25年3月時の調査以来、堅調に回復傾向にあったDIは前回調査時から下降傾向に転じている。



●7~9月見通しのDIは-16.1と、前回より10.7ポイント改善した。(前回-26.8)。地

注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

域別に見ると、福知山市域は 11.1(前回-23.3)、舞鶴市域は-27.3(前回-17.4)、綾部市域は-38.1(前回-34.9)、宮津市・与謝郡域は-50.0(前回-47.3)、京丹後市域は-8.3(前回-23.0)であった。このように福知山市域、京丹後市域で、前回と比べて良い見通しとなっている。

景況動向判断 4~6月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	16.9	53.9		26.9	2.3
福知山市	11.1	74.1		14.8	
舞鶴市	22.7	36.4		31.8	9.1
綾部市	23.8	28.6		47.6	
宮津・与謝	8.3	58.4		33.3	
京丹後市	16.7	60.4		20.8	

景況動向判断 7~9月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	12.3	57.7		26.1	3.7
福知山市	18.5	74.1		3.7	3.7
舞鶴市	13.6	45.5		36.4	4.5
綾部市	9.5	42.9		42.8	4.8
宮津・与謝		50.0		50.0	
京丹後市	12.5	62.5		20.8	2.1

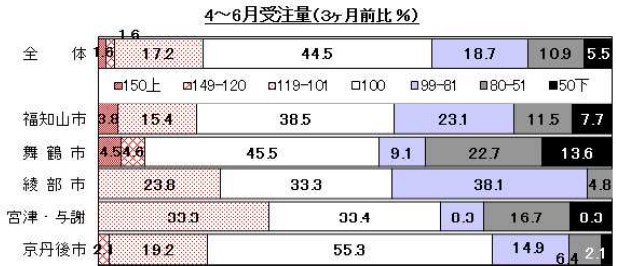
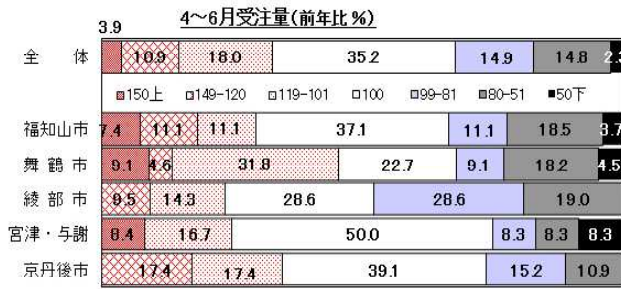
2 採算状況

●4~6月の採算状況は、全体では、赤字とする企業は20.8%（前回26.2%）と5.4ポイント減少した。福知山市域と京丹後市域で黒字企業が赤字企業を上回っているが、舞鶴市域と綾部市域では下回っており依然厳しい状況が続いている。

4~6月採算状況

地域	黒字	トントン	赤字
全体	24.6	54.6	20.8
福知山市	25.9	55.6	18.5
舞鶴市	27.3	40.9	31.8
綾部市	28.6	38.1	33.3
宮津・与謝	33.3	33.4	33.3
京丹後市	18.8	72.9	8.3

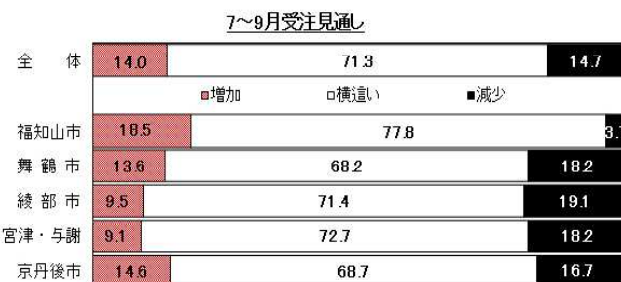
3 受注量



- 4~6月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は68.0%（前回57.1%）と10.9ポイント増加した。対3か月前比100%以上を確保した企業は64.9%（前回54.4%）と10.5ポイント増加した。地域別には、宮津市・与謝郡域は7割近くの企業が、京丹後市域は7割を超える企業が100%以上の受注を確保している。



- 4~6月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は36.8%（前回34.6%）と2.2ポイント増加した。全ての地域で半数以上の企業が受注能力100%以上の仕事を確保しておらず、まだ生産余力がある。



- 7~9月の受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合は14.0%（前回5.1%）と8.9ポイント増加し、減少を見込む企業の割合は14.7%（前回23.4%）と8.7ポイント減少した。

4 受注条件（受注単価／納期）



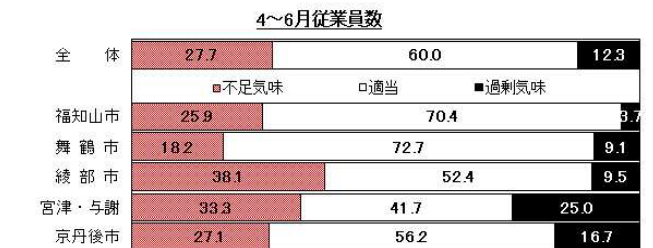
- 受注単価が下がったとする企業は7.8%（前回11.1%）と、3.3ポイント減少した。納期が短くなったとする企業は32.3%（前回37.8%）と5.5ポイント減少した。

5 資金繰り



- 資金繰りは、悪化とした企業が12.3%（前回21.6%）と前回より9.3ポイント減少した。福知山市域、綾部市域、京丹後市域では、好転とした企業は皆無であった。

6 従業員数



- 従業員数は、不足気味が27.7%（前回19.4%）、過剰気味が12.3%（前回11.9%）となった。全地域において、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っており、人手不足の状況がうかがえる。